

各 位

海 部 南 部 消 防 組 合

管 理 者 加 藤 光 彦

(公 印 省 略)

海部南部消防組合新庁舎建設工事に関する質疑事項について (回答)

質疑に対し、下記のとおり回答します。

記

番号	図面番号	質 疑	回 答
1	S-特01 S-1	コンクリート強度が特記仕様書と使用材料一覧表とで相違します。使用材料一覧表を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
2	S-特01	特記仕様書のコンクリート工事で土間コンの強度が不明です。参考内訳書に合わせてFc21(スランプ15)と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
3		また防水押えなど仕上コンクリートも参考内訳書に合わせて普通コンクリートFc21(スランプ15)と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
4		杭残土はセメント固化材を混ぜて再利用としても宜しいでしょうか。	「建設廃棄物適正処理指針」、「建設汚泥処理物の廃棄物該当性の判断指針について」の法等を順守しての再利用は可能ですが、埋戻し等に利用する場合は、コーン指数400KN/m ² 以上とします。
5	S-22 S-13	庁舎棟の梁増打要領で補強筋は主筋径の1サイズダウンとありますが、地中梁増打要領では主筋径がD16と相違します。地中梁・上部梁を合わせて増打補強筋は主筋径の1サイズダウンを採用と考えて宜しいでしょうか。	一般階梁は、1サイズダウン、地中梁は、D16とします。
6	S-26・29 S-32	車庫棟及び緊急避難路棟についても、上記と同様に増打補強筋は主筋径の1サイズダウンを採用と考えて宜しいでしょうか。	同上
7	S-22 S-7	構造スリット詳細図でスリット厚は30mmとありますが、庁舎棟のY1通軸組図で2階壁の垂直スリットの様には内法長さが3200の場合でもスリット厚は30と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

番号	図面番号	質 疑	回 答
8	S-28	車庫棟のPC梁施工に関連してR階平面にPC緊張後コンクリート打設があれば範囲をご指示下さい。	Y2及びY5通りです。
9	S-29	車庫棟外壁まわり鉄骨詳細図で梁下面にアンカー4-M12とありますが、2000ピッチ程度と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
10	A-49	車庫出入口まわり詳細図で下地・吊り材 [-200x80x7.5がありますが、鉄骨同士ジョイント詳細及びRC面取合の接続詳細をご指示ください。	ジョイントは溶接、RC接続は金属系アンカーM20-2本@900、詳細は現場協議によります。
11	A-64	スライディングウォールのレール下地鉄骨でRCとの取合にあと施工アンカーM10とありますが、金属系アンカーと考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
12	A-68	EV内の各鉄骨部材の取付詳細が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・柱脚: ベースPL-16(SN400B) アンカーボルト 2-M16 ・鉄骨同士: ガセットPL-9 HTB M16	宜しいです。
13	A-78	発注者事務所棟基礎図で床下防湿コンクリートとありますが普通コンクリートFc18と考えると宜しいでしょうか。混和材が必要であればご指示下さい。	宜しいです。 混和材については、共通仕様書によります。
14	A-78	また防湿コン下は下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・防湿シート t0.15 1枚敷き ・砕石無し	宜しいです。
15	A-78	防湿コンクリート内の補強は溶接金網5φ-150x150と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
16	A-78	発注者事務所棟基礎図でDS1とF1との取合に差し筋4本とありますが、差し筋は在来鉄筋D13と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。 L=800とします。
17	A-25	屋根A 排水溝は塗膜防水 X-2 W=500 防水モルタル下地 t=0~100と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
18	A-12	キュービクル、EPS立上①の間やEPS立上②、PS立上り付近にある500角の口はW500xD500xH600 躯体立上りの設備基礎と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
19	A-20	屋上内壁笠木や庇立上り天端笠木のAL笠木は既製品と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。

番号	図面番号	質 疑	回 答
20	A-19 A-48	庇B1のAL笠木の幅が矩計図W=275、部分詳細図ではW=300と相違します。部分詳細図W=300を正と考えて宜しいでしょうか。又W=300の範囲は庇B1長辺方向のみと考えて宜しいでしょうか。併せてご指示下さい。	W=275を正とします。
21	A-49	車庫屋上 y5通り排水溝は防水モルタル 仕上W150xH50と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
22	A-19 A-23	屋根C 屋上内壁の仕上が不明です。笠木天端の仕上も含めて屋根Bの内壁同様外壁A2と考えて宜しいでしょうか。	外壁A1です。 屋根C、Dともです。
23	A-32 A-33	屋根D上にある設備基礎は防水押えコンと一体とし、給湯設備基礎はH=150、ガスボンベ庫基礎はH=100、仕上はコンクリート金ごて仕上と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
24	A-22	屋根D x8通り、y1通りの排水溝は防水モルタル W300xH200と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
25	A-49	玄関アルミ ^ハ 祢裏面に透湿防水シート、GB-Rとあります。 透湿防水シート t=1.0、GB-R t=12.5と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
26	A-49	玄関アルミパネルに貫通止水処理 鉄骨押えPL、2重シーリングとあります。それぞれ、PL-6 溶融亜鉛メッキ仕上、変成シリコン系(MS-2) 15x10+15x10と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
27	A-22 A-28	バイク置場 y1通り EPC壁について矩計図で通路側の仕上はB2の指示がありますが、バイク置場側の壁仕上が不明です。通路側同様B2と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。 (EPCではなく、ALC壁です。)
28	A-28	袖壁 x4y1通りに通気管のとありますが、仕様、寸法、箇所数をご指示下さい。	SUSオーバーフロー管の流用とします。 50φ、L=200(網付)です。
29	A-51	EXP・Jカバー受け樋から落ちる豎樋がVP75φとあります。カラーVPと考えて宜しいでしょうか。 また、GL以降、第1排水桝までの排水経路はさや管 125φ+地中埋設管 VP125φで最寄りの雨水桝に接続と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

番号	図面番号	質 疑	回 答
30	A-27	屋外階段の踏面に塗床とメッシュ筋6φ-100×100とありますが、塗床の下地はモルタルとしモルタル内にメッシュ筋6φ-100×100と考えて宜しいでしょうか。 また、踊場床の仕上も同様と考えて宜しいでしょうか。 併せてご指示下さい。	宜しいです。
31	A-27	屋外階段下の土間立上りはコンクリート打放補修仕上と考えて宜しいでしょうか。	土間床仕上と同じく、塗床とします。
32	A-55	雑詳細図(4)のStグレーチング 1F車庫前に排水管にVPとありますが、径はφ75と考えて宜しいでしょうか。 また、目皿:SUSを見込んで宜しいでしょうか。	A-71図より側溝に接続しますので、VP、目皿はなしとします
33	A-55	地流しの磁器質タイルは下記と考えて宜しいでしょうか。 ①雑詳細図(4)で地流しの壁・笠木に磁器質タイル100角とありますが、外部仕上表・その他では磁器質タイル150角とあり相違します。 地流しの磁器質タイルは全て100角と考えて宜しいでしょうか。 ②地流しの磁器質タイルは役物は無しと考えて宜しいでしょうか。 ③地流しの磁器質タイルの下地は参考内訳よりモルタルと考えて宜しいでしょうか。 ④地流しの磁器質タイルにメーカー/品番がありましたらご指示下さい。	宜しいです。 宜しいです。 有りとします。 宜しいです。 無釉珐瑯13.0ピアツァ(役物あり)(株式会社LIXIL) 同等以上です。
34	A-19	矩計図(1)でVP取合にサヤ管VP(+50φ程度)とありますが、GLまで降りている竪樋足元にサヤ管VP(+50φ程度)と考えて宜しいでしょうか。 また、GL以降の地中埋設管はVP管(径は竪樋の径+50φ程度)と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

番号	図面番号	質 疑	回 答
35	A-06 A-10 A-12	屋根D 緊急避難路のスロープ部の真空コンクリートノンスリップ工法に伸縮目地の表記はありませんが参考数量内訳に項目があります。平面図の通り伸縮目地は無しと考えて宜しいでしょうか。また、参考数量内訳に塗床-無機B(散布)の項目があります。外部仕上表より、スロープ部の真空コンクリートは塗床-無機B(散布)無しと考えて宜しいでしょうか。	目地は有りとしします。
36	A-2 A-47	床下地が仕上表ではCコンクリートコテもしくはMモルタルですが、部分詳細図ではセルフレベリングと相違します。セルフレベリングを正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。 ※回答38「床まわり整理内容」を参照
37	A-47	床セルフレベリングの仕様は、参考数量内訳書よりセメント系と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
38	A-6	一般共通事項-内部関連に記載ある塗床仕上部のひび割れ誘発目地の詳細をご指示下さい。また、セルフレベリングの施工範囲にはひび割れ誘発目地は不要と考えて宜しいでしょうか。	誘発目地はとりやめとします。 またA47図-塗床セルフレベリングは、不要とします 床まわり整理内容 ・VS等仕上:セルフベリング有り ・塗床仕上:セルフベリング無し ・OAフロア:H100.200共 金属製 セルフベリング無し+防滑塗床
39	A-38他	展開図で建具上部に、目地とありますが建具上ハット目地のことでしょうか。その場合、仕様が不明です。塩ビジョイナーと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
40	A-8 A-33	2F 更衣室(M) 仕上表で床見切りの指示がありますが、平面詳細図では指示がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
41	A-54	2F 食堂～厨房のカウンター上部の下がり壁仕上がVクロスとありますが、下地はPB t=12.5の一重と考えて宜しいでしょうか。またカウンター横のSwD3上部の下がりH=500も同様と考えて宜しいでしょうか。	周囲の壁と同じく2重貼りとしします。
42	A-7 A-41 A-54	2F 食堂の天井高さ 仕上表でH=2500ですが、雑詳細図のカウンター廻りでは、厨房のH=2500より天井高さが高い図示です。また、展開図でもスケールアップでH=2700と相違します。食堂の天井高さは、仕上表のH=2500を正と考えて宜しいでしょうか。	A-16図、A-19図より2,700を正とします。

番号	図面番号	質 疑	回 答
43	A-41	2F 厨房の壁仕上 展開図で一部耐水PB+化粧ケイカル板+ステンレス板 t=0.6の図示がありますが、化粧ケイカル板の上にステンレス板を張るのでしょうか。	化粧ケイカルは省き、耐水PB+ステンレス板とします。
44	A-47	0Aフロア下にセルフベリングの指示がありますが、厚みはt=15と考えて宜しいでしょうか。	不要とします。 また、0AフロアH100の仕様をH200と同等の金属製に変更します。 ※回答38「床まわり整理内容」を参照
45	A-34 A-47	3F 本部事務室内に図示がある、床見切り(OAF)は部分詳細図 0Aフロアにある、床見切りコ型のことでしょうか。	ご指摘のとおりです。
46	A-34 A-45	3F 本部事務室の天井下がり H=200の仕上が不明です。 PB t=12.5 EP塗と考えて宜しいでしょうか。	A-19図より、RB(a)です。
47	A-53	腰棚A・B上部の不燃化粧板、Vクロスの下地は、PB t=12.5と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
48	A-64他	SLW上部の吊材 天井フトコロ内にグラスウールとPB t=12.5の指示がありますが、吊材C-50x0x20x2.3に張るものと考えて宜しいでしょうか。 またグラスウール充填は、t=50 24kg/m ³ と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
49	A-8 A-42	3F 通信機械室 天井仕上が、スラブあらわしと指示がありますが、打放補修 素地と考えて宜しいでしょうか。 また梁型も同様と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
50	A-36	4F 大会議室～倉庫4の建具にサッシ方立の指示がありますが、寸法は、W340x175と考えて宜しいでしょうか。	ボード壁小口にW320 x 25程度、方立位置にW175程度のアルミ型材を設けて、隙間を埋めてください。
51	A-28	1F 待機室の天井高さが切り替えの範囲x6通の下がり壁の仕上は、LGS 19型の上、PB t=12.5+EP塗と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
52	A-38	1F トレーニングルーム 展開図で不燃断熱材とありますが、梁型は化粧打放 仕上に読み替えて宜しいでしょうか。	Y4通り(屋根D面)のみ不燃断熱材とし、その他は化粧打放とします。
53	A-29	1F 危険物収納庫 床面に溜桷の図示がありますが、仕様・寸法が不明です。 W300x300xH300防水モルタルの上、塗床Cと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

番号	図面番号	質 疑	回 答
54	A-50	EPX. P部の床取り合いのシーリングの仕様・寸法は、ポリウレタン系 30x10と考 えて宜しいでしょうか。	寸法は宜しい寸法は宜しいです。仕様は、シー リング上部に塗床仕上がりできないため、ポリサ ルフアイド系又はエポキシ系とします。
55	A-8 A-43	4Fのホワイエ・廊下 仕上表で、天井高が H=2700とH=2500の指示がありますが、展 開図ではH=2500のみです。天井高は H=2500のみと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
56	A-42	3F 展示コーナー～消防長室前に垂壁の 指示がありますが、仕上は、LGS 19型の 上、PB t=12.5+EP塗りH=450と考えて宜 しいでしょうか。	宜しいです。
57	A-33	2F オイルタンクの溜桧の寸法は、 W300x300xH300と考えて宜しいでしょ うか。また仕上は、防水モルタルの上床仕 上材と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
58	A-21 A-33	2F受水槽室 外部通路への階段の仕上は 踏面、蹴上ともモルタルの上VS-Aと考 えて宜しいでしょうか。 段鼻ノンスリップはステンレス W=35ビ ニルタイヤ入り、階段の側面は打放補修 素地と考えて宜しいでしょうか。	M金コテ仕上とします。 宜しいです。
59	A-27 A-33	2F 廊下(共用) 西階段上部に緊急避難通 路用の階段の図示がありますが、仕上が り不明です。屋内階段に同じと考えて宜 しいでしょうか。	宜しいです。
60	A-25	2F 廊下 階段前の下がり壁 H=640の仕 上が不明です。 LGS 19型+PB t=12.5の上EP塗と考 えて宜しいでしょうか。	天井材と同様に、RB(a)とします。
61	A-28 A-39	1F 玄関ホール廻り 天井切り替え部分の仕 上が、展開図でRB(a) と指示がありま すが、岩綿吸音板 t=12 PBt=12.5と考 えて宜しいでしょうか。 またELV廻りにも下がり壁が付きます が、この下がり壁は、PB t=12.5+EP塗 と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。 A-39図のハッチングより、PB t=12.5+不燃化粧 板です。
62	A-39 A-60	1F 廊下Aに垂壁 耐火壁B+不燃化粧板の 指示がありますが、建具表でAW-14aのガ ラスの垂壁の指示があります。建具表を 正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
63	A-29 A-47	1F 廊下Bの垂壁下部に、ステンレス床見切り と指示がありますが、部分詳細図にハッ ト型、L型の指示がありません。 詳細をご指示下さい。	L型とします。

番号	図面番号	質 疑	回 答
64	A-6 A-29	1F 廊下B スロープ廻りの巾木が、塗床立上りと指示がありますが、床の仕上は、VS-Dです。塗床の仕様A-Dいずれでしょうか。ご指示下さい。	塗床Aとします
65	A-27	屋内階段のサララ桁は、SOPと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
66	A-8	東階段の壁仕上に、EP塗とEP-G塗の指示がありますが、EP-G塗と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
67	A-7 A-26	階段下倉庫の天井のロックウールの厚みが、仕上表ではt=25ですが階段詳細図ではt=15です。階段詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	t=30とします。
68	A-8	EPS(1)(2) 天井仕上がスラブあらわしとあるのは、打放補修 素地と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
69	A-8	仕上表にEPSのみの仕上の指示のみですが、各階のPSも同様に考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
70	A-13	ピットに排水溝の図示がありますが、仕上が不明です。モルタル 仕上 W100x50と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
71	A-13	ピットの通気管、通水管の仕様は、VP管と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
72	A-47	ALC版とRCの取り合い部のシーリングは、変成シリコン系0x10程度で宜しいでしょうか。	20 x 20程度とします。
73	A-25・26 A-6	西・東階段の天井 GD-Pのは、仕上表 防火材料認定リストより、厚みt=9.5 不燃と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
74	A-47	災害用倉庫の押出成形セメント板とRCの取り合い部にシーリングの指示がありますが、変成シリコン系 10x10と考えると宜しいでしょうか。またシーリングは、頂部のみで宜しいでしょうか。	下部のシーリングを見込んでください。
75	A-43	災害用倉庫のセメント板用点検口 W=325の寸法は、W325x325と考えると宜しいでしょうか。また仕様をご指示下さい。	宜しいです。 押出成形セメント板メーカー標準既製品のスレートボードです。
76	A-47	災害用倉庫の排水溝からの排水経路として VPφ50の指示があります。また参考数量内訳書よりVPφ50が、20m計上されていますが、排水経路をご指示下さい。	A71-外構配置図上において、西側：CU200 東側：隣地境界線付近C9に接続とします。

番号	図面番号	質 疑	回 答
77	A-30	車庫内の消火栓基礎の仕上は、天端、立上り共、床仕上に併せて宜しいでしょうか。	宜しいです。
78	A-08 A-33	2F洗面所(W)、食堂、WC(M)の洗面カウンターについて、参考数量内訳に項目がありません。図面の通り洗面カウンターを見込んで宜しいでしょうか。	宜しいです。 (WC(M)は内訳書に記載しています。)
79		外部建具廻りシーリングはMS-2 15×10 シングルシーリングと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
80	A-61	建具表(1) AW14のガラス防煙垂壁は固定と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
81	A-61 A-60	建具表(1) AW15a～15c 場所の欄に3Fとありますが、建具キープラン3FにAW15a～15cがありません。誤記と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
82	A-61	建具表(1)AAD建具について確認です。備考欄に飛散防止フィルム(グラデーション)、金物の欄に衝突防止マークとありますが、建具表どおりと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
83	A-61	建具表(1) AAD2 姿図にCH2020とあります。AAD2建具H寸法は2000と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
84	A-60 A-61・62	建具キープランに建具符号凡例がありますが、建具表に凡例の無い符号があります。AF、SW、OSSは建具表名称どおりと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
85	A-60 A-62	建具表(2) SD6b数量がありません。1階建具キープランより1箇所と考えて宜しいでしょうか。	1F工具室のSD6 bはとりやめとし、SD10に変更します。 (SD10の数量を2⇒3とします。)
86	A-60 A-62	建具表(2) SD6b、13a、13b 仕上の欄にDPとありますが、他SD内部建具仕上げと同じSOPに読替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
87	A-62 A-39	建具表(2) SD6b姿図で、1階展開図(2) 工具室は、額入ガラル付親子開フラッシュ戸、廊下C展開図は親子開フラッシュ戸、建具表姿図は欄間FIX+額入親子開フラッシュ戸とあり相違します。建具表姿図を正とし、欄間FIX+額入親子開フラッシュ戸と考えて宜しいでしょうか。	上記回答85の内容とします。

番号	図面番号	質 疑	回 答
88	A-62	建具表(2) SD11G、12G 姿図上部の隙間パネルは、 ①パネルはスチール製、DP仕上げと考えると宜しいでしょうか。 ②パネルH寸法は150～300と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
89	A-62 A-49 A-66	OSS建具枠は建具表にありませんが、部分詳細図(3) DT-09詳細図にシャッター枠、建具詳細図(3)にSt-1.6tとあります。OSSスチール枠はDP仕上げと考えると宜しいでしょうか。	St-1.6tをとりやめ、SUSア1.5 HL仕上に変更します。
90	A-62 A-66	SS建具枠は、建具表にありませんが、建具詳細図(3)にSt-1.6tとあります。スチール枠はDP仕上げと考えると宜しいでしょうか。	St-1.6tをとりやめ、SUSア1.5 HL仕上に変更します。
91	A-62・63 A-28他	建具表 SAD、LSD引戸の引残しが不明です。引残し150と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
92	A-62 A-特07	建具表(2) SAD ステンレス製建具 仕上げの欄にステンレスとあります。建築工事特記仕様書 16章 6節 ステンレス製建具より、HL仕上げと考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
93	A-62	建具表(2) SSD1、TW1 名称の欄にEPSドア、EPS用点検口とありますが、両面フラッシュ戸と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
94	A-62	建具表(2) SSD1姿図 2連両開戸 中央の方立にW寸法がありません。W70と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
95	A-60 A-63	建具表(3) LSD2G数量1とありますが、1階建具キープランより2箇所に変更して宜しいでしょうか。	宜しいです。
96	A-63	建具表(3) LSD3b 仕上げの欄に化粧シート貼とあります。 ①化粧シートは扉両面(枠共)と考えると宜しいでしょうか。 ②化粧シートのメーカー及び品番をご指示下さい。	宜しいです。 オルティノ(アイカ工業株式会社)、ダイノックフィルム(3Mジャパン株式会社)、同等以上です。
97	A-60 A-63	建具表(3) LSD14G数量6とありますが、1階建具キープランより5箇所に読替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。 (LSD14Gではなく、LSD14です。)
98	A-63 A-65	建具表(3) SLW2 姿図H2835、建具詳細図(2)スライディングウォールはH2635とあり相違します。建具表H2835を正と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。

番号	図面番号	質 疑	回 答
99	A-63	建具表(3) TBh4 姿図にSUS保護板とありますが、両面と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
100		外構工作物のコンクリート強度は以下の様に考えて宜しいでしょうか。 ①捨てコンクリート FC18 S=15 ②鉄筋コンクリート FC21 S=15	宜しいです。
101	A-71 A-74/G-2	北側、オーバーレイ範囲について確認ですが既存舗装の上に施工するのではなく、断面より既存舗装撤去の上、アスファルト舗装を路盤とも敷設すると解釈して宜しいでしょうか。	宜しいです。 既設撤去です。
102	A-76/GD-1	北側、オーバーレイ範囲のアスファルト舗装詳細は、詳細図GD-1より表層アスコンt50+砕石t150+地盤改良と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
103	A-76/GD-3	コンクリート舗装の伸縮目地は@5.0m程度と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
104	A-71	法面芝種子吹付け部分に客土は不要と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
105	A-71	外構図凡例、緑地及び整地が参考内訳書にありません。 凡例通り、必要と思われますが緑地及び整地は具体的に整地のままということでしょうか。 緑地とする場合は植種など、ご指示ください。	整地のままです。
106	A-71	外構図凡例、緑地及び整地で緑地とする場合、客土厚H200と考えると宜しいでしょうか。	客土は不要です。
107	A-71	柵・側溝用のグレーチング蓋はスチール製と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。 仕上は、熔融亜鉛メッキとします。
108	A-71、76	排水柵500角の詳細がありませんが、400角同様のPU柵詳細に伴って宜しいでしょうか。	宜しいです。
109	A-75	水路補強図の埋戻し土は根切土流用可能でしょうか。	可能です。

番号	図面番号	質 疑	回 答
110	A-71	アスファルト舗装(地盤改良)GD-1とアスファルト舗装GD-2について参考数量内訳の数量が逆になっていると思われます。外構配置図凡例の通り、地盤改良の施工はGD-1範囲と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
111	M-06	圧縮空気配管について、コンプレッサー等機器は別途と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
112	M-06	圧縮空気配管について、工具室内の立下りはFL+1500と考えばルブ渡しとし、機器等への接続は別途と考えて宜しいでしょうか。	宜しいですが、立下り位置は現場にて調整ください。
113	M-06	圧縮空気配管について、X1-Y5の立下りはFL+1500と考えばルブ渡しとし、機器等への接続は別途と考えて宜しいでしょうか。	同上
114	MT-04	撤去屋外配管ステップ図について、配管の撤去や切替仮設、切り廻し等の記載がありますが、参考数量内訳書に該当の配管がありません。M-04に記載の配管等以外は別途と考えて宜しいでしょうか。	MT-05に記載のとおり、既設配管の撤去も本工事としてください。
115	M-28	オイルタンク室のFE-9の送風機は防爆仕様等は不要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
116	M-28	オイルタンク室のFE-9のダクトは亜鉛鉄板と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
117	M-18	屋上の冷媒配管用化粧ケースの材質は高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板製と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

番号	図面番号	質 疑	回 答
118		令和5年3月から適用する公共工事設計労務単価等の運用に係る特例措置及びインフラ条項の運用について、本工事は対象と考えて宜しいでしょうか。	公共工事設計労務単価等の運用に係る特例措置として、海部南部消防組合公共工事請負契約約款（建築工事中）第61条に基づき、令和5年3月1日労務単価に限り、請負代金額の変更の協議を請求することができるものとします。 ただし、本件工事の入札においては、令和4年度の労務単価（旧労務単価）を適用して算出した金額により入札してください。 また、海部南部消防組合公共工事請負契約約款（建築工事中）第26条第6項に基づく請負代金額の変更（スライド条項）については、契約後の賃金水準又は物価水準の変動により判断させていただきます。
119	A-44 A-48	緊急避難通路 外側の梁底の仕上げが天井伏図では、凡例C1 C化粧打放し(保護A)の記載ですが、部分詳細図(2)DT-04 屋根D図ではC化粧打放しと相違しています。 部分詳細図 C化粧打放しを正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
120	A-6 A-23	訓練用バルコニーの床仕上が仕上表ウレタンゴム系塗膜防水X-2の記載ですが、矩計図では防水Mと相違しています。 仕上表を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。 矩計図、A55-雑詳細図を正とします。
121	A-23 A-44	車庫棟 Y5通りの仕上げが天井伏図では凡例C1 化粧打放し(保護A)の記載ですが、矩計図では軒裏カバー アルミパネルで相違しています。 矩計図の軒裏カバー、アルミパネルを正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
122	A-6 A-19 A-45	庇B1の軒裏仕上げについて、天井伏図では凡例C2化粧打放しの記載ですが、仕上表、矩計図では外壁A1 化粧打放し(保護A)で相違しています。 仕上表を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
123	A-29 A-55	地流しBについて、W寸法が1階平面詳細図(2)ではW=700、雑詳細図(4)・地流しBではW=900と相違しています。 平面詳細図のW=700を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。

番号	図面番号	質 疑	回 答
124	A-12	塔屋階平面図で屋根BのY1通り側に0Fの記載が計5箇所ありますが、0Fの凡例がありません。 0Fはオーバーフロー管と考えてよろしいでしょうか。	誤記です。 オーバーフロー管は取りやめです。
125	A-06 A-10	訓練用バルコニーのドレインについて、外部仕上表ではφ100の記載ですが、2階平面図ではφ75と相違しています。 訓練用バルコニーの縦樋はφ75ですのでドレインはφ75を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
126	A-06 A-09 A-19他	縦樋のVP管について、外部仕上表及び平面図の凡例ではカラーの記載ですが、矩計図等の他の図面ではVPにカラーの記載がありません。 縦樋のVP管はカラーと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
127	A-06 A-32他	庇Cについて、外部仕上表に中継ドレインの記載ですが平面詳細図等他の図面に記載がありません。 中継ドレインは不要と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
128	A-25	階段詳細図(2)西階段の断面図A1でR階屋上の縦樋下に平板ブロックの記載がありますが、300角程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
129	A-2 A-47	仕上表の床下地は、C コンクリートもしくはM モルタルの記載ですが、部分詳細図はセルフベリングです。 仕上表を正と考えてよろしいでしょうか。	部分詳細図のセルフベリングを正とします。 ※回答38「床まわり整理内容」を参照
130	A-7 A-47	車庫の塗床下にセルフベリングは必要でしょうか。 ご指示願います。	不要とします。
131	A-47	0Aフロア下にセルフベリングは必要でしょうか。 ご指示願います。	不要とします。 また、H100の仕様をH200と同等の金属製0Aフロアに変更します。 ※回答38「床まわり整理内容」を参照
132	A-45	4階 大会議室の天井下がり H=150部分の仕上をご指示願います。	RB(a)とします。

番号	図面番号	質 疑	回 答
133	A-8 A-43	4階 控室について 壁仕上 仕上表はクロス の記載ですが、展開図ではEP塗と相違 しています。 仕上表を正と考えてよろしいでしょ うか。	宜しいです。
134	A-7 A-20	2階 オイルタンク室/受水槽室の外壁RC 面について、仕上表ではRC打放しの記載 ですが、矩計図では不燃断熱材 t=25で す。 仕上表を正と考えてよろしいでしょ うか。	矩計図を正とし、不燃断熱材 t=25とします。
135	A-27 A-33	2階 西階段上部に緊急避難通路用階段の 記載がありますが、階段仕上をご指示願 います。	西階段と同じ仕様とします。
136	A-7 A-29	1階 廊下Cについて 床仕上が仕上表で VS-Dの記載ですが、平面詳細図ではVS-A と相違しています。 仕上表を正と考えてよろしいでしょ うか。	平面詳細図のVS-Aを正とします。
137	A-7 A-26	階段下倉庫の天井のロックワールの厚みにつ いて、仕上表はt=25の記載ですが階段詳細 図はt=15です。 仕上表を正と考えてよろしいでしょ うか。	t=30とします。
138	A-7 A-40	消防団倉庫・災害用倉庫の壁仕上につ いて 仕上表は、外部側ALC版面あらかわしの ままの記載ですが、展開図ではEP-G塗と 相違しています。 仕上表を正と考えてよろしいでしょ うか。	宜しいです。
139	A-22 A-40	消防団倉庫について X8通の立上りが、 矩計図はH=500の記載ですが、展開図は H=100です。 矩計図を正と考えてよろしいでしょ うか。	宜しいです。
140	A-40 A-47	災害用倉庫 二重壁内のRC壁に塗布防水 C-UIが必要と考えてよろしいでしょ うか。	宜しいです。
141	A-10	2階オイルタンク室の消火器が◆Kと★大 の2種類の凡例の記載があります。 ◆Kは不要と考えてよろしいでしょ うか。	必要とします。

番号	図面番号	質 疑	回 答																					
142	A-61・62・63	<p>建具表と平面詳細図寸法が相違しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>符号</th> <th>建具表</th> <th>平面詳細図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-32</td> <td>AW6 W1400</td> <td>W1375(2階平詳1)</td> </tr> <tr> <td>A-35・37</td> <td>AW11d W5260</td> <td>W5200 (W1680+70+1700+70+1680)</td> </tr> <tr> <td>A-33</td> <td>SD7c W900</td> <td>W850(2階平詳2)</td> </tr> <tr> <td>A-60</td> <td>SG1 W460</td> <td>W480(1階平詳2)</td> </tr> <tr> <td>A-29</td> <td>LSD1a W800(有効)</td> <td>W1000(有効)×2 (1階平詳1)</td> </tr> <tr> <td>A-28</td> <td>LSD4 W2000(有効)</td> <td>W1800(有効) (1階平詳1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>建具表寸法を正と考えてよろしいでしょうか。</p>	符号	建具表	平面詳細図	A-32	AW6 W1400	W1375(2階平詳1)	A-35・37	AW11d W5260	W5200 (W1680+70+1700+70+1680)	A-33	SD7c W900	W850(2階平詳2)	A-60	SG1 W460	W480(1階平詳2)	A-29	LSD1a W800(有効)	W1000(有効)×2 (1階平詳1)	A-28	LSD4 W2000(有効)	W1800(有効) (1階平詳1)	<p>宜しいです。(建具表W1400を正とします。)</p> <p>平面詳細図W5200を正とします。</p> <p>宜しいです。(建具表W900を正とします。)</p> <p>平面詳細図W480を正とします。</p> <p>平面詳細図W1000を正とします。 (LSD1aを32⇒30箇所、2aを9⇒11か所 とします。)</p> <p>宜しいです。</p>
符号	建具表	平面詳細図																						
A-32	AW6 W1400	W1375(2階平詳1)																						
A-35・37	AW11d W5260	W5200 (W1680+70+1700+70+1680)																						
A-33	SD7c W900	W850(2階平詳2)																						
A-60	SG1 W460	W480(1階平詳2)																						
A-29	LSD1a W800(有効)	W1000(有効)×2 (1階平詳1)																						
A-28	LSD4 W2000(有効)	W1800(有効) (1階平詳1)																						
143	A-62	<p>建具表名称と姿図が相違しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>符号</th> <th>名称</th> <th>姿図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SD3</td> <td>片開き</td> <td>親子開き</td> </tr> <tr> <td>SD9</td> <td>片開き</td> <td>親子開き</td> </tr> </tbody> </table> <p>姿図を正と考えてよろしいでしょうか。</p>	符号	名称	姿図	SD3	片開き	親子開き	SD9	片開き	親子開き	<p>宜しいです。</p> <p>宜しいです。</p>												
符号	名称	姿図																						
SD3	片開き	親子開き																						
SD9	片開き	親子開き																						
144	A-65	<p>建具詳細図(2)スライディングウォール仕様の欄にSLW3の記載がありますが、平面図にありません。 キープランからSLW2 2箇所と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。(A65図右上記載のSLW3は誤記)</p>																					
145	A-9 S-26	<p>1階平面図でX1通りの扉部床が土間コンの記載ですが、構造図にありません。 スラブリスト CS31と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>																					
146	A-9 S-26	<p>1階平面図でX1通り外部にポンプ置場床が土間コンの記載ですが、構造図にありません。 スラブリスト CS31と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>地流し床も同様とします。</p>																					
147	A-68	<p>エレベーター下地鉄骨の柱脚部分の詳細をご指示願います。</p>	<p>柱脚:ベースPL-16(SN400B) アンカーボルト 2-M16 とします。</p>																					
148	A-71	<p>雨水桝について、桝記号C4はリストに2箇所の記載ですが配置は1箇所です。 配置を正と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>																					